

事業計画

(平成31年2月1日～平成32年1月末日まで)

2019年度は、下記の通り、オカヤマアワード2019、岡山芸術交流の開催に向け、準備を進めて参ります。また、新たな取り組みとして、ホテル事業、助成事業、不動産賃貸事業を実施して参ります。

1. オカヤマアワード事業

(1) 運営方針

2019年度においても、継続して岡山県の各業界で活躍されている若手から次世代のリーダーを顕彰する場として運営して参ります。なおオカヤマアワードは2019年度の10回目を最終回とし事業終了予定です。

(2) 2019年度計画

2019年夏 ノミネーター選出記者会見

2019年秋 授賞式開催

選考基準に関しては、引き続き、岡山への貢献、その分野の発展を基準に選定を行います。

(3) 予算計画

総費用：10,000,000円

業務運営委託：サーブ（本選会場費、運営費、映像記録、パンフレット製作費等）

2. 岡山芸術交流2019

(1) 運営方針

「岡山芸術交流2019 | Okayama Art Summit 2019」を岡山県、岡山市、各企業、団体から構成される実行委員会とともに実施、運営してまいります。

(2) 概要

会期：2019年9月27日（金）～2019年11月24日（日）

会場：岡山城・後楽園周辺の歴史・文化ゾーン内において徒歩で移動が可能なコンパクトなエリアに会場を配置する。主要会場は、旧内山下小学校、岡山県天神山文化プラザ、岡山市立オリエント美術館、林原美術館、岡山県立美術館、岡山城など。

主催：岡山芸術交流実行委員会

会長 大森雅夫（岡山市長）

副会長 佐藤兼郎（岡山県副知事） 岡崎 彬（岡山商工会議所会頭）

監事 宮長雅人（株式会社中国銀行取締役頭取）

顧問 越宗孝昌（株式会社山陽新聞社会長） 榎野博史（国立大学法人岡山大学学長） 宮武博（岡山市議会議長）

総合プロデューサー 石川康晴（公益財団法人石川文化振興財団理事長）

総合ディレクター 那須太郎（TARO NASU 代表/ギャラリスト）

アーティスティックディレクター ピエール・ユイグ（アーティスト）

パブリックプログラムディレクター 木ノ下智恵子（大阪大学共創機構社会学共創本部（兼 21世紀懐徳堂）准教授）

(3) その他付随するイベント等

参加アーティスト記者発表 2018年12月14日（金）岡山

参加アーティスト記者発表 2018年12月17日（月）東京

アート関連記者懇親会 2019年1月18日（金）台北

アート関連記者懇親会 2019年3月26日（火）香港

パネルディスカッション 2019年3月15日（金）岡山

パブリックプログラム子供ガイド 2019年3月30日（土）岡山

第3回岡山芸術交流実行委員会 詳細企画公表 2019年5月（予定）

(4) 2019年度資金計画

運営費用として、下記範囲で行って参ります。

財団拠出予定金額 150,000,000円

※総費用は関係各所確認を経て確定（その他文化庁、岡山県・岡山市等の行政機関からの拠出にて対応）

3. 美術館事業

(1) 運営方針

アート事業の中心となる美術館運営の第一歩として、中規模なギャラリーを開館いたします。

(2) 2019年度の計画

石川理事長所有の岡山市弓之町の旧福岡醤油建物を財団が譲り受け、岡山芸術交流2019に合わせ開館する予定です。

(3) 2019年度資金計画

費用合計：1,000,000円

4. ホテル事業 A&A

(1) 運営方針

このプロジェクトは、約20年かけて岡山市内の歴史文化ゾーンおよびその周辺に、世界的

に活躍する現代アート作家と日本人建築家がタッグを組んでデザインした宿泊施設を岡山に誕生させるもので、宿泊施設(作品)に滞在することでアートを体験してもらい、芸術への理解促進と芸術を楽しめる滞在型都市岡山への発展を目指します。

A&A プロデューサー：石川康晴

A&A ディレクター：那須太郎 (TARO NASU 代表/ギャラリスト)

A&A アドバイザリ：青木淳 (青木淳建築計画事務所)

(2) スキーム

ホテル用地は石川理事長が手配し、財団はその特定財産を譲り受けるものとし、収益事業として行います。

(3) 2019年度の計画

2019年秋に下記2戸(i)(ii)の竣工を予定しており2019年9月から11月にかけてのオープンを目指します。2019年2月に岡山県に収益事業として新規事業認定申請をする予定です。

(i) リアム・ギリック × MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO ……別紙資料①参照

住所：岡山市北区天神町9-2

構造：木造2階建

(ii) ジョナサン・モンク × 長谷川豪建築設計事務所 ……別紙資料②参照

住所：岡山市出石町1丁目

構造：鉄筋コンクリート2階建

(4) 2019年度資金計画

設計関係費用額

費用合計 200,000,000円

5. 不動産賃貸事業

(1) 概要

地域振興の一環として、街の活性化に適切な店舗を選定し、財団所有の建物を賃貸するもので、収益事業として行います。

(2) スキーム

石川理事長が所有の土地建物を財団が譲り受け、不動産として貸し出しをします。

(3) 2019年度の計画

2月に岡山県に収益事業として新規事業認定申請予定。認定後、8月頃までに、岡山市出石町にて賃貸を開始する予定です。

(4) 2019年度資金計画

運営備品購入費など

費用合計：1,000,000円

6. 助成事業

(1) 運営方針

岡山県において行われる、芸術文化または経済の振興および教育分野での個人や団体の活動事業に対して、助成を行います。

(2) 2019年度の計画

募集要項、審査方法など詳細を決定し、公募の準備を進めてまいります。

(3) 2019年度資金計画

各団体・個人への助成金は活動費の50%未満とし、総額1,000,000円を上限として検討しております。

7. 寄付計画

(1) イギリス TATE (テート) への寄付

TATEはイギリスの政府外公共機関であり、16世紀から現代に至るまでのイギリスの美術品と近現代の国際的な美術品のコレクションを管理しています。同時にテート・モダン、テート・ブリテンなどの国立美術館の運営も行なっています。この団体へ対する年間10,000ポンドの寄付を予定しております。寄付によって財団が国際的なコネクションを持つ、アドバイザー・カウンシルの一員となり、将来的に連携をはかっていくことを検討しております。

(2) 2019年度資金計画

寄付金額 年間：10,000ポンド(約1,450,000円)

以上

石川文化振興財団 2019 年度収支計画

1. 収支計画

支出計 456,226,000 円

内訳

(事業支出) 392,300,000 円

(事業運営関連費用) 35,932,000 円

(管理運営関連費用) 27,994,000 円

収入計 464,500,000 円

内訳

(事業収益) 14,500,000 円

(寄附金) 450,000,000 円

2. 月次計画

別紙 2019 年度月次収支計画をご参照下さい。

以上